

第四次 宮崎県環境基本計画

令和3年3月 策定

令和5年3月 一部改定

宮 崎 県

はじめに

私たちは、科学技術の進展などにより、物質的に豊かで、利便性の高い快適な生活を送ることができるようになりました。しかし、その一方で、地球環境に大きな負荷をかけており、気候変動、海洋プラスチックごみ汚染、生物多様性の損失など様々な問題を生じさせています。

これらの問題に対応し、将来の世代が安心して暮らすことのできる環境を維持するためには、県民一人一人が環境問題を自らの課題として捉え、ライフスタイルや社会経済システムを環境に配慮したものに転換することが不可欠です。

本県は、緑あふれる山々や美しい海岸線に加え、温暖な気候、豊かな水資源、多様な動植物など素晴らしい自然環境に恵まれており、これらを損なうことなく将来の世代へと引き継いでいくことは、今を生きる私たちの責務であります。

この「第四次宮崎県環境基本計画」では、令和3年度から10年間にわたる本県の環境行政の基本計画として、「ひと・自然・地域がともに輝く 持続可能なみやざき」という目標を掲げ、経済成長と環境保全が両立した持続可能な社会の実現に向けた取組を示しています。

また、国の脱炭素化に向けた動きに対応するため、本県の温室効果ガス削減目標をより高い目標に見直すなど、令和5年3月に本計画を一部改定したところであり、今後、2050年ゼロカーボンの実現に向けた更なる取組を加速させてまいります。

引き続き、県民、事業者、団体、行政等の各主体と連携しながら、環境・経済・社会が調和し、それぞれが向上する持続可能な社会づくりに取り組んでまいりますので、皆様方の一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定に当たり、熱心に御検討をいただきました宮崎県環境審議会の委員の皆様をはじめ、貴重な御意見をいただきました県民の皆様から心から感謝申し上げます。

令和5年3月

宮崎県知事 河野 俊嗣

目 次

第1章 基本的事項	1
1 計画策定の趣旨	1
2 計画の性格と役割	2
3 計画の期間	3
4 対象とする環境	3
第2章 本県を取り巻く諸情勢	4
1 自然・気候等の特性	4
2 社会経済の動向	4
3 環境を取り巻く国内外の動向	5
4 県民の環境意識	7
5 本県環境の現状と課題	19
第3章 長期的な目標	20
1 目指すべき環境像	20
2 令和12(2030)年度の宮崎県の姿	21
3 温室効果ガスの削減目標等	22
4 施策展開において重要となる視点	24
第4章 分野別の施策の展開	27
第1節 脱炭素社会の構築	32
1-1 温室効果ガス排出削減	32
1-2 再生可能エネルギー等の導入促進	41
1-3 二酸化炭素吸収源対策	47
1-4 気候変動への適応	51
第2節 循環型社会の形成	57
2-1 4Rの推進	57
2-2 廃棄物の適正処理の推進	68
2-3 食品ロスの削減	73
2-4 環境にやさしい製品の利用促進	76
第3節 地球環境、大気・水環境等の保全	80
3-1 地球環境、大気環境の保全	80
3-2 水環境の保全	85
3-3 化学物質対策	91
3-4 環境負荷の低減等	94
第4節 生物多様性の保全	97
4-1 生物多様性の確保	97
4-2 多面的機能を持続的に発揮する豊かな森林づくり	103

4-3	自然豊かな水辺の保全と創出	107
4-4	自然とのふれあいや配慮	111
第5節	環境保全のために行動する人づくり	115
5-1	環境教育の推進	115
5-2	環境保全活動の推進	120
第6節	環境と調和した地域・社会づくり	123
6-1	環境にやさしい地域・産業づくり	123
6-2	快適な生活空間の創出	128
第5章	重点プロジェクト	132
1	「2050年ゼロカーボン社会づくり」プロジェクト	132
2	「みやざき地域循環共生圏づくり」プロジェクト	135
第6章	計画の推進	137
1	推進体制	137
2	進行管理	137
資料編	138
■	環境指標（数値目標）一覧	139
■	用語解説	143
■	計画策定の経緯	159
■	宮崎県環境審議会委員名簿	160

第四次宮崎県環境基本計画 全体構成図

第1章 基本的事項 1 計画策定の趣旨 2 計画の性格と役割 3 計画の期間 4 対象とする環境
第2章 本県を取り巻く諸情勢 1 自然・気候等の特性 2 社会経済の動向 3 環境を取り巻く国内外の動向 4 県民の環境意識 5 本県環境の現状と課題
第3章 長期的な目標 1 目指すべき環境像 ひと・自然・地域がともに輝く 持続可能なみやざき 2 令和12（2030）年度の宮崎県の姿 3 温室効果ガスの削減目標等 平成25（2013）年度比 50%削減 4 施策展開において重要となる視点
第4章 分野別の施策の展開 第1節 脱炭素社会の構築 1-1 温室効果ガス排出削減 1-2 再生可能エネルギー等の導入促進 1-3 二酸化炭素吸収源対策 1-4 気候変動への適応 宮崎県気候変動適応計画 第2節 循環型社会の形成 2-1 4Rの推進 2-2 廃棄物の適正処理の推進 2-3 食品ロスの削減 2-4 環境にやさしい製品の利用促進 宮崎県廃棄物処理計画 宮崎県食品ロス削減推進計画 第3節 地球環境、大気・水環境等の保全 3-1 地球環境、大気環境の保全 3-2 水環境の保全 3-3 化学物質対策 3-4 環境負荷の低減等 第4節 生物多様性の保全 4-1 生物多様性の確保 4-2 多面的機能を持続的に発揮する豊かな森林づくり 4-3 自然豊かな水辺の保全と創出 4-4 自然とのふれあいや配慮 第5節 環境保全のために行動する人づくり 5-1 環境教育の推進 5-2 環境保全活動の推進 宮崎県環境教育行動計画 第6節 環境と調和した地域・社会づくり 6-1 環境にやさしい地域・産業づくり 6-2 快適な生活空間の創出
第5章 重点プロジェクト 1 「2050年ゼロカーボン社会づくり」プロジェクト 2 「みやざき地域循環共生圏づくり」プロジェクト
第6章 計画の推進 1 推進体制 2 進行管理